



虫の声を楽しむ本
山田の巻



山田市民センターのまわりの地図



たちどまって
きいてみよう
ポイント

- ・市民センターの周りの
駐車場や野球場
は鳴く虫がいっぱい
- ・山田ふれあい公園
には、カネタタキや
ハヤシノウマオイ
などもいるよ♪



ここで暮らしている虫たち

(平成29年9月30日に観察した虫)

コオロギのなかま

エンマコオロギ

ハラオカメコオロギ

モリオカメコオロギ

ツツレサセコオロギ

カンタン

シバズズ

マダラスズ

カネタタキ

キリギリスのなかま

クサキリ

ハヤシノウマオイ

セスジツユムシ

バッタのなかま

ショウリョウバッタ

次のページでは、個性豊かな鳴き声をもつ、コオロギやキリギリスのなかまをご紹介します！

12種類

コオロギのなかま

エンマコオロギ



写真提供: 雑倉正人

3cmくらい

- ・いちばんメジャーなコオロギ
- ・コオロギの中では一番大きい
- ・歌うように、高い声で鳴く
- ・「コロソーコロコロ…」と鳴き声が表されることが多いけれど、コロコロよりキリキリの方が近い（気がする）

ハラオカメコオロギ



写真提供: 雑倉正人

1.5cmくらい

- ・エンマコオロギの半分くらいのサイズ
- ・オスは、横から顔を見ると、お面のように、顔が平たく、切ったようにストンとしている
- ・「ギツギツギツギツ…
ギツギツギツギツギツ」
4～5音で区切って鳴く

モリオカメコオロギ



写真提供: 雑倉正人

1.5cmくらい

- ・ハラオカメコオロギとみためそっくりで、みためだけで区別するのはとても難しい
- ・鳴き声もハラオカメコオロギによく似ているが、ちょっとだけ間延びした感じ

コオロギのなかま

ツツレサセコオロギ



写真提供: 雑倉正人

1.5cmくらい

- ・エンマコオロギのような顔もしていないし、ハラオカメコオロギのように顔が平たくもない
- ・「ソツソツソツソツソツ…」ちょっとにごった「ソツ」でテンポが速く、ひたすら続けて鳴く

カンタン



写真提供: 浅尾勝彦

1.5cmくらい

- ・うすい黄緑色の体がきれい
- ・ひょろっとしていて、たよらない感じ
- ・細長い
- ・「リュリュリュリュリュ…」鳴いているのはオスだけれど、鳴き声がきれいなことから「鳴く虫の女王」とよばれる

シバズズ



写真提供: 浅尾勝彦

6mmくらい

- ・芝生にいっぱいいる
- ・芝生を歩くと、ぴよんぴよんはねる。
- ・「ジ————」体が小さいので声もちょっと小さい

コオロギのなかま

マダラスズ



写真提供: 雛倉正人

6mmくらい

- ・シバズズよりも、おしゃれ（白黒の模様）
- ・シバズズと同じくらいのサイズ
- ・「ビー、ビー、ビー」
声はシバズズと似ているけれど、区切って鳴く

カネタタキ



写真提供: 雛倉正人

1cmくらい

- ・体の前半分は赤っぽく、後半分は黒っぽい
- ・植え込みや街路樹に多い
- ・「チツ チツ チツ チツ チツ」
金属っぽい音
さびついた自転車のブレーキのようにも聞こえる

キリギリスのなかま

クサキリ



写真提供: 斎藤雄二

4cmくらい

- ・みどりいろ
(ちゃいろもいるよ)
- ・あしの先の方(大きく曲がっているところから先)は、黒っぽい
- ・「ジ—————」
ちょっと、耳ざわりに感じる人もいるかも

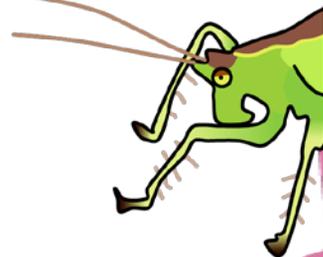
ハヤシノウマオイ



写真提供: 浅尾勝彦

4.5cmくらい

- ・別名「すいっちょん」
- ・目が人っぽい
- ・「スイー——ツチョン」
最後の「チョン」は、
舌打ちのようにきこえる



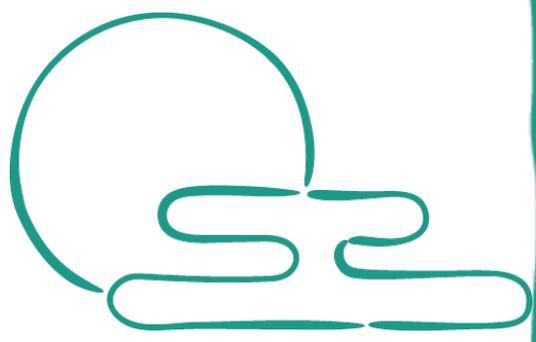
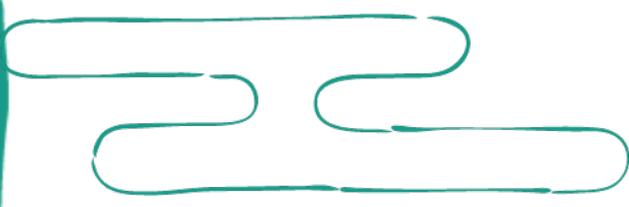
セスジツユムシ



写真提供: 雛倉正人

4cmくらい

- ・その名のとおり、背中に1本筋が入っている
- ・オスの筋は茶、メスの筋は白
- ・3cmくらい
- ・「チキッ チキチキッ」
線香花火の音
だんだん鳴き方が盛り上がってくる



この本は、生物多様性保全推進事業「虫の声を楽しむ会～山田の巻～」
 (平成29年9月30日)でみつけた虫をもとに作りました。

◆作成協力：伊東憲正◆

 ホームページで、虫の声を楽しむ会の様子や、様々な生きものの奏でる音を配信しています！のぞいてみてね。

生物多様性保全推進事業ホームページ
 (仙台市環境Webサイト たまきさん内)

<http://www.tamaki3.jp/wildlife/index.html>



スマホや携帯で
 バーコードを読み取ってみよう！

